

# 浮世絵展示 水野年方

展示期間

令和7年(2025)3月29日(土)～4月20日(日)



三井好 都のにしき 3 夏 土用干



三十六佳撰 花見 文政頃婦人

## 次回展示のご案内

【展示室 1】

近代美人画の系譜—浮世絵から日本画へ

令和7年(2025)4月22日(火)～5月18日(日)



山口県立萩美術館・浦上記念館  
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 TEL.0838-24-2400 FAX.0838-24-2401

水野年方(1866-1908)は、浮世絵師 月岡芳年(1839-1892)の門人として画技を習得した後、他流派の柴田芳洲、三島蕉窓、渡邊省亭からも画風を学び、穏やかで気品ある画風を確立しました。はじめは新聞や小説の挿絵、浮世絵制作に携わり、明治20年代(1887-1896)半ばから浮世絵が終焉を迎える明治30年代(1897-1906)にかけては、浮世絵版画でありながらも日本画を想わせる美人画のシリーズを次々と発表していきます。また同じ時期には、木版口絵(雑誌や書籍の巻頭に折り込まれた一枚摺の口絵)も数多く手掛けました。その後は、時代の変化とともに日本画家へと転じ、鏗木清方(1878-1972)をはじめ多くの門人を育成しました。このような年方の画業は、浮世絵の画系を次世代の日本画へとつなぐ役目を果たしたと言えます。今回の展示では、年方の浮世絵や木版口絵を中心に紹介します。

## 出品作品一覧

No.	作品名	判型・形態	制作年	館藏品番号
1	雪月花之内 常盤御前雪中之図	大判錦絵 3枚続	明治17年(1884)	U1271 (TU)
2	平家福原棧敷殿ニテ管弦之図	大判錦絵 3枚続	明治18年(1885)	U1272 (TU)
3	教導立志基 村上義光	大判錦絵	明治21年(1888)	U4546
4	楠正行弁の内侍を救ふ図	大判錦絵 3枚続	明治24年(1891)	U4544
5	三十六佳撰 潮干 文化頃婦人	大判錦絵	明治26年(1893)	U5540 (TU)
6	三十六佳撰 樽人形 延宝頃婦人	大判錦絵	明治26年(1893)	U5541 (TU)
7	三十六佳撰 花見 文政頃婦人	大判錦絵	明治26年(1893)	U5542 (TU)
8	美人観吉野園花菖蒲	大判錦絵 3枚続	明治28年(1895)	U4543
9	三井好 都のにしき 3 夏 土用干	横大判錦絵	明治31年(1898)頃	U2037 (SA)
10	三井好 都のにしき 8 秋 訪問	横大判錦絵	明治31年(1898)頃	U2038 (SA)
11	三井好 都のにしき 11 冬 雪の朝	横大判錦絵	明治31年(1898)頃	U2040 (SA)
12	今様美人 六	横大判錦絵	明治32年(1899)	U2030
13	今様美人 八	横大判錦絵	明治32年(1899)	U2032
14	茶の湯日々草 初座迎ひの図	横大判錦絵	明治29年(1896)	U4534
15	茶の湯日々草 亭主あいさつの図	横大判錦絵	明治29年(1896)	U4536
16	茶の湯日々草 料理献立の図	横大判錦絵	明治29年(1896)	U4540
17	茶の湯日々草 会席の図	横大判錦絵	明治29年(1896)	U4539
18	茶の湯日々草 中立こしかけの図	横大判錦絵	明治29年(1896)	U4530
19	茶の湯日々草 濃茶の図	横大判錦絵	明治30年(1897)	U4531
20	茶の湯日々草 広間薄茶の図	横大判錦絵	明治29年(1896)	U5538
21	茶の湯日々草 帰るところの図	横大判錦絵	明治30年(1897)	U4542
22	『文芸倶楽部』第1巻11編 小説「鰻旦那」	木版口絵	明治28年(1895)	U5515 (TU)
23	『文芸倶楽部』第3巻8編 小説「佳人看菖蒲」	木版口絵	明治30年(1897)	U5513 (TU)
24	『文芸倶楽部』第4巻1編 小説「新粧美人」	木版口絵	明治31年(1898)	U5461 (TU)
25	『文芸倶楽部』第7巻13号 小説「寂光院」	木版口絵	明治34年(1901)	U5514 (TU)
26	『文芸倶楽部』第10巻8号 小説「号外」	木版口絵	明治37年(1904)	U5462 (TU)
27	(相撲絵)	画稿	未詳	U5458 (TU)
28	(菅原道真)	画稿	未詳	U5460 (TU)
29	(武者絵)	画稿	未詳	U5459 (TU)

※寄贈作品には、館藏品番号に寄贈者のイニシャルを付しています。  
TU:浦上敏朗氏寄贈 SA:安部宗明氏寄贈